

鹿沼市 ICT 部門の業務継続計画【概要版】

1 計画の趣旨・基本方針

業務継続計画とは、災害等発生時において、鹿沼市の重要業務を継続して実施または早期復旧するための計画である。

鹿沼市行政サービスの運営には、様々な情報システムが不可欠であり、災害等発生に備え、事前に復旧体制や代替手段等の対策を講じておかなければ、業務の実施や早期復旧は困難である。

そこで、「鹿沼市業務継続計画【震災編】」に基づき、災害発生時における ICT 部門の復旧体制や手順を整えることを目的に、鹿沼市「ICT 部門の業務継続計画」を策定する。

2 計画の運用体制と見直し

「ICT 部門の業務継続計画」の運用にあたっては、鹿沼市 DX 推進本部に設置されるシステム復旧班において行う。

計画の見直しにあたっては、毎年見直しを行い、システム復旧班長の承認のもと、計画を改定する。

緊急時には、鹿沼市災害対策本部の指揮に従い、緊急時対応体制のもと活動する。

3 被害想定

「鹿沼市業務継続計画【震災編】」に基づき「震度6強の地震」が発生した場合を想定した。

4 重要業務・システム・インフラ

重要業務・システムについて、3つのクラスに分類し、それぞれ目標復旧時間を設定した(括弧内は目標復旧時間)。

クラスS (直ちに)	災害発生時に最優先で行わなければならない業務
クラスA (1日以内)	災害発生時に優先して行わなければならない業務
クラスB (3日以内)	通常業務のうち、休止することで市民生活等に重大な支障を及ぼす業務

5 緊急時対応計画

大規模な災害・事故が発生した場合には、緊急時対応体制のもと、「防災・情報システム復旧グループ」、「基幹系システム復旧グループ」、「電力供給・電話通信システム復旧グループ」、「独自システム復旧グループ」にて復旧活動する。

各グループの役割、対応要員、参集基準等について定める。

緊急時における行動計画について、参集から復旧行動の実施までの手順を定める。

6 平常時におけるリスク管理と評価

庁舎やシステムの現状についてまとめ、潜在しているリスクを検証する。

外部事業者との連携体制について整理を行う。

7 必要最小資源

災害時優先業務復旧を実施するにあたり、最小限必要な資源を整理する。